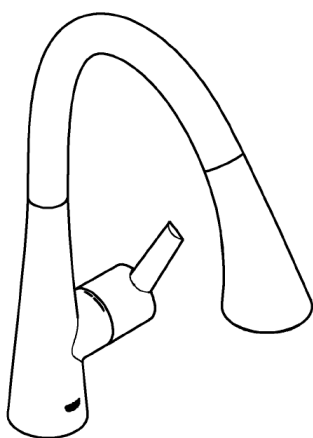


ゼドラ シングルレバーキッチン混合栓 取扱説明書 (お客様用)

- このたびは、GROHE製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書(付属の保証書)はお読みにになりました後もすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。
- この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
- 不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 転居される場合、次にご使用される方にこの説明書と別添の保証書をお渡しください。

工事店さまへのお願い

この取扱説明書と、別添の保証書に貴店名ならびに
取付日をご記入の上、お客様にお渡しください。



もくじ

ご使用前に	1
安全上のご注意	2
ご使用上の注意	3
各部の名称	4
ご使用方法	4
お手入れ方法	6
定期的な点検	7
冬期凍結の恐れがある場合	8
日常のお手入れ	9
修理を依頼される前に	9
定期的な部品交換	10
アフターサービスについて	10
認証登録番号	10

ご使用前に

- キャビネット内の止水栓が開いているか確認してください。
閉まっている時は止水栓のハンドル(レバー)を左に回し、開けてください。
※図は縦型止水栓で記載されておりますが、横型止水栓についても同様です。



給湯機器と組み合わせてご使用の場合

- 比例制御式の給湯器の設定は、温度調節を高温にしてください。
- 能力切替付の給湯器では、能力を季節に合わせてご使用ください。
※吐出量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。
- 給水圧力が低いときや水温が高いときは、給湯器が着火しない場合があります。
このときは、給湯器の設定温度(能力切替付は能力)を少し上げてお試してください。
- ガス給湯器の温度調節は最高温度(60℃)設定です。温度設定は60℃以上で使用しないでください。

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管して下さい。

用語および記号の説明

警告	「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」		
注意	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」		
	「注意しなさい！」 (上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)		
	「してはいけません！」 (一般的な禁止記号です。)		「分解してはいけません！」
	「指示した場所に触れてはいけません！」		「指示通りにしなさい！」 (一般的な行動指示記号です。)

警告: ヤケドをしないために












	<p>小さいお子さまだけの使用は避けてください。 ※ヤケドやケガをする恐れがあります。</p>	
	<p>他所の水栓と同時使用しないでください。 ※同時使用すると、圧力変動により湯温が急上昇し、ヤケドをする恐れがあります。</p>	
	<p>給湯機器の温度設定は65℃以上で使用しないでください。 ※水栓が破損し、ヤケドや家財等を濡らす恐れがあります。 なお、誤動作などによるヤケド防止のため、60℃給湯をおすすめします。</p>	
	<p>高温の湯をお使いのときには、吐水口は高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。</p>	
	<p>水栓の左側は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。</p>	
	<p>高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流して下さい。 ※次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。</p>	
	<p>定期的に配管の漏水やガタツキが無いか確認して下さい。 ※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
	<p>お湯をお使いになる時には、必ず水側から開栓してください。その後ゆっくり湯側へ回し、お好みの温度に調節してください。 ※湯側から先に開栓すると高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。</p>	
	<p>給水圧力は給湯圧力より必ず高くしてください。 ※正常な温度調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。</p>	

注意: 凍結防止のために

	<p>凍結時に解氷機をご使用の際、水栓本体部には絶対に通電しないでください。 ※発熱により水栓内部の樹脂部品が破損し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
	<p>【一般地の場合】凍結の恐れがあるときは、凍結予防の措置を行ってください。 ※変形したり故障したりして、漏水の原因となります。</p> <p>【寒冷地の場合】配管と水栓の水抜き操作を確実に行ってください。 ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害の発生の恐れがあります。</p>	

安全上のご注意

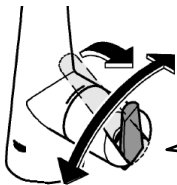
注意：正しくお使いいただくために

 禁止	水道水および飲用可能な井戸水以外は使用しないでください。 ※商品の内部腐食により、漏水の原因になります。 ※飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水を言います。 ※水道水・飲用可能な井戸水でも水アカの付着・緑青の発生で回転不良・温度調整不良のおそれがありますので、定期的なメンテナンスが必要です。	水道水のみ OK 
	衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。 ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。	
	キャビネット内のものを出し入れするとき、給水・給湯ホースに引っ掛けるなど、ホースに無理な力が加わらないようにしてください。 ※給水・給湯ホースの外れや、損傷による漏水の原因となります。	
 分解禁止	ハンドルや吐水口周辺に直接水をかけないでください。 ※家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	
	修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	
 指示	開閉ハンドルの急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。 ※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	ゆっくり 
	めっき面のハガレはそのまま放置しないでください。 ※めっき面のハガレやキズでケガをする恐れがあります。	ハガレ 
	日頃から、ときどき吐水口を回してください。 ※水アカなどが付着し回りにくくなります。無理に回そうとすると、漏水の原因になります。	

ご使用上の注意

開閉ハンドルの操作

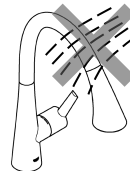
- ◎開閉ハンドルの操作はゆっくり行ってください。
急閉止をすると部品破損による漏水の原因になります。
- ◎混合栓を使用する際は必ず水から吐水してください。
※熱湯が吐出してやけどする恐れがあります。



操作はゆっくり

水かけの禁止

- ◎本体、スプレーヘッド引き出し口や、引き出したホース部分に直接水をかけないでください。
キャビネット内へ水が侵入し家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。



水かけ禁止

水受トレーの点検

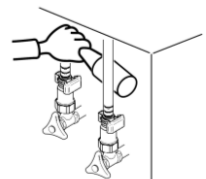
- ◎時々水受トレーを点検し、水が溜まっていれば捨てるようにしてください。
短期間に容器内に水が溜まる場合は、水栓の故障が考えられます。販売店、据付業者、または当社サービスセンターへお問い合わせください。

ヘッド引出しタイプは、水滴がホースを伝いキャビネット内に落ちることがあります。
水受容器を設置される場合は、ホースの作動に干渉しづらい市販のトレー式浅型タイプをおすすめいたします。

キャビネット内に物を出し入れする際の注意

- ◎キャビネット内のものを出し入れするとき、給水・給湯ホースや引出しホースに引っ掛けるなどホースに無理な力が加わらないようにしてください。
給水・給湯ホースの外れや、損傷による漏水の原因となります。

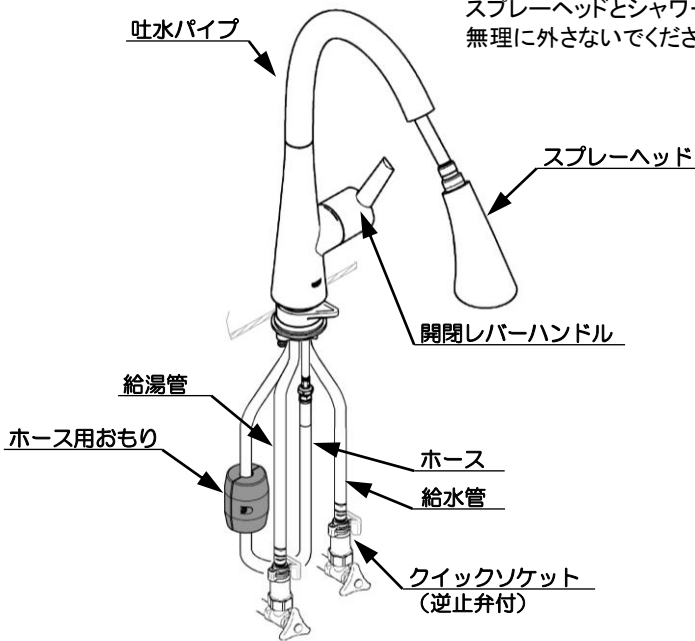
ホースに無理な力を加えない



各部名称

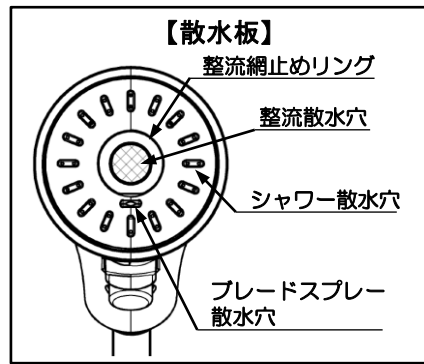
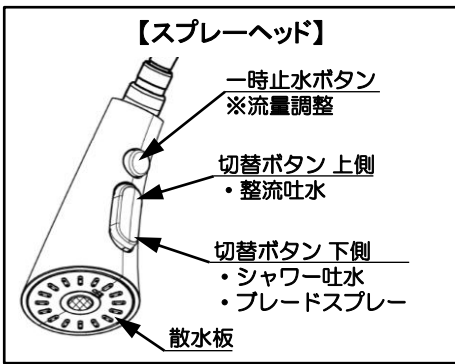
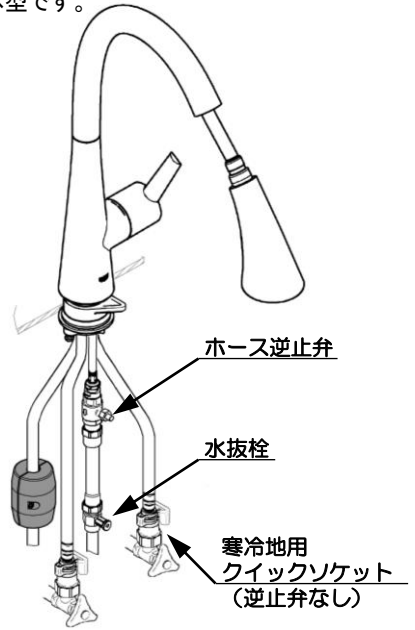
品番・シリーズによっては、図と現品の形状が異なります。

一般地用



スプレーヘッドとシャワーホースは一体型です。
無理に外さないでください。

寒冷地用



ご使用方法

開閉レバーハンドル

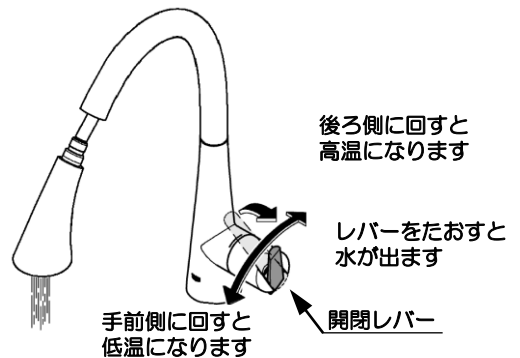
開閉レバーハンドルを操作することにより、湯水の吐水量と吐水温度の調整を行うことができます。

【開閉および水量調節】

- レバーを外側に倒して → 水が出ます
- レバーを内側に戻して → 水が止まります
- ※約30度で全開です

【温度調整】

- レバーを後ろ側に回して → 湯(高温)になります
- レバーを手前側回して → 水(低温)になります



注意

- ・レバー操作はゆっくりと行って下さい。
※急激な操作をすると水栓または、配管部で音がでたり、吐水温度が急激に変わります。
※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
- ・高温をお使いになる時は、必ず水側に開閉レバーを回してからゆっくり湯側開閉レバーを回して、お好みの温度に調整してください。

ご使用方法

スプレーヘッドの操作方法

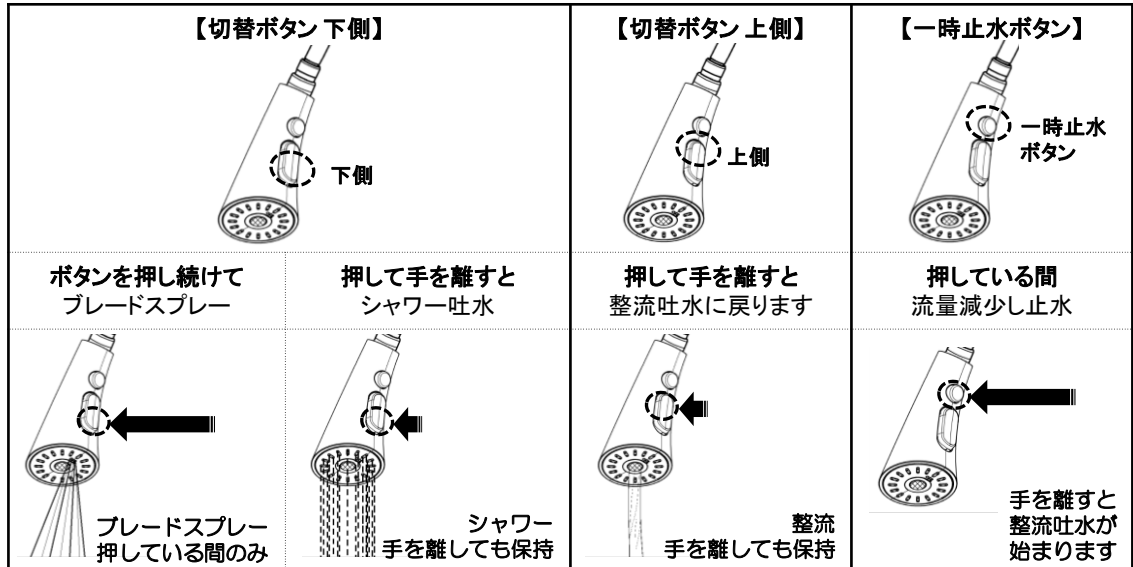
吐水中に切替ボタンを押すとブレードスプレー(ボタン押下中のみ保持)、シャワー吐水、ストレートの整流吐水に切替ができます。

【切替ボタン】

- ボタン下側を押し続けて → ブレードスプレー吐水になります
- ボタン下側を押して手を離すと → シャワー吐水になります
- ボタン上側を押して手を離すと → 整流吐水に戻ります

【一時止水】

- ボタンを押しますと流量が減っていきます。
- ※最後まで押すと水は止まりますが、放すと整流吐水に戻ります。



※開栓時は整流吐水です。

※シャワー吐水のまま止水、または一時止水ボタンを使用した後は、ストレートの整流吐水に自動復帰します。

※閉栓すると自動的に整流吐水にもどります。

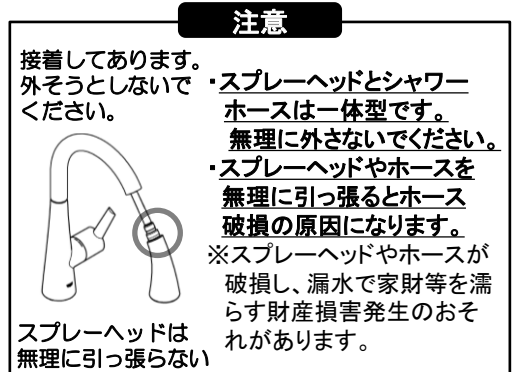
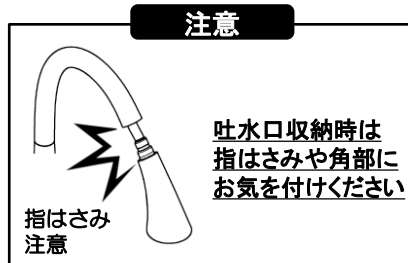
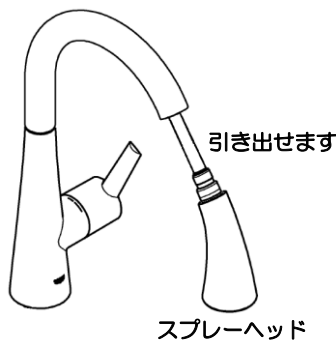
※下側の切替ボタンはブレードスプレーからシャワーに切替わる仕様です。

※ブレードスプレーは水の勢いがあるため、通常よりも水撥ねが多く発生します。ご注意ください。

※流量が多いとボタンの操作が重く感じる場合があります。適切な流量に調節してください。

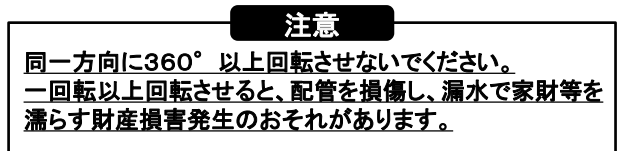
ホース引出し

スプレーヘッドは引き出して使用することができます。



吐水口の回転

吐水口は、360°回転させることができます。吐水口(パイプホルダー)にストッパーは有りません。



お手入れ方法

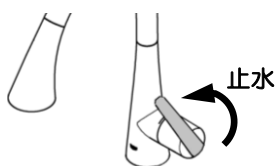
吐出量が少なくなった場合は
エアレーターのゴミ詰まり等が考えられます。
以下の手順にそって清掃をしてください。

注意

※エアレーターの掃除をする際は、必ず止水栓を止水状態にして行って下さい。
※改善しない場合はクイックソケット、エアレーターの交換が必要になります。
※引き渡し間もない場合、工事で使用したシールトープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。

エアレーター の清掃

1. レバーハンドルを
止水状態にします。



2. 以下の手順でエアレーターを取外します。

- ①エアレーターカバーを取外します。



- ②エアレーターを回転させて取外す



注意

- ・専用工具は製造時期により異なります。
- ・取外した部品は無くさないようご注意ください。

4. エアレーターに付着したゴミを取り除きます。



やわらかいブラシでこする
ゴミを水で流す

ポイント

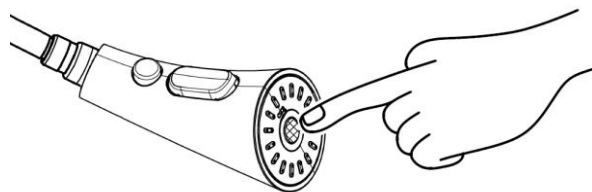
設置直後にはシールトープ、グリス等が付着している事
があります。よく水洗いしてください。

注意

- ・清掃後は、専用工具を使用して、確実にエアレーターを
取付けてください。
- ・エアレーターやストレーナーは樹脂製です。
強くこすらないでください。

散水板の清掃

シャワーの散水板に汚れが付着すると散水が乱れます。
散水穴を指で軽くなでて、付着した汚れを落としてください。



注意

散水穴は強くこすらないでください。

定期的な点検

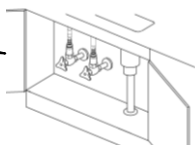
安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

配管まわりの水漏れ(1ヶ月に1回程度)

- ◎配管まわり(キャビネット内)の水漏れがないか確認してください。
部品の劣化・磨耗などによって生じる漏水で、家財などを濡らす財産損害発生を未然に防止するために、配管まわりの点検をおこなってください。

水漏れなし!

キャビネット内



めっき部分の破損(1ヶ月に1回程度)

- ◎めっき部分の破損がないか確認してください。
劣化・磨耗などによって生じるめっき表面の割れで、ケガをするおそれがあります。

吐水口の回転(1ヶ月に1回程度)

- ◎時々吐水口を左右に動かしてください。
吐水口を長期間回転させずにご使用になると回転部に水アカ等が付着し、回りにくくなることがあります。また無理に回そうとすると水漏れの原因になります。

水栓のガタツキ(1カ月に1回程度)

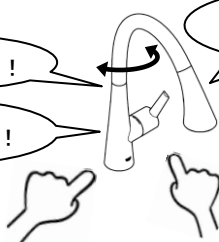
- ◎水栓のガタツキがないか確認してください。
ガタついたままお使いになると、配管に負担がかかり漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

水漏れなし!

ガタツキなし!

時々左右に動かす

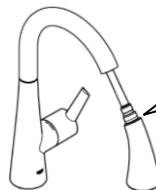
めっき破損なし!



スプレーヘッドからの漏水(1ヶ月に1回程度)

- ◎スプレーヘッド接続ナットから水漏れがないか確認してください。
接続ナットのゆるみによって生じる漏水を未然に防止するために、スプレーヘッド接続ナットにゆるんでいないか点検をおこなってください。

ナットのゆるみなし!



冬期凍結の恐れがある場合

凍結が予想される際は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。(一般地仕様の場合)

寒冷地仕様の場合は、配管の水抜き操作と水栓の水抜き操作を行って下さい。

※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生 の恐れがあります。

※凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。破損の状況によっては有料の本体交換になる場合もありますのでご注意ください。

注意

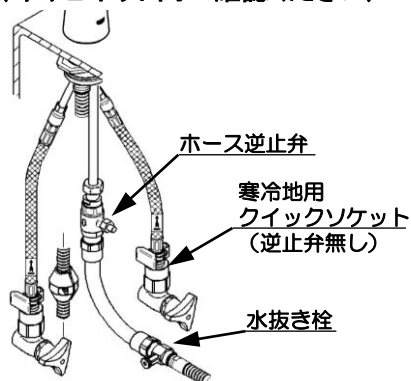
凍結が予想される場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓から少量の水を流し放しにする。
- 水栓や配管部などに保温材を巻く。

寒冷地仕様の場合

ご使用の製品が寒冷地仕様品の場合、以下の手順で凍結破損を防止することが出来ます。

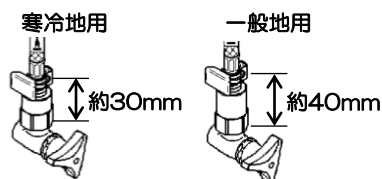
【寒冷地仕様品】
(キャビネット内ご確認ください)



注意

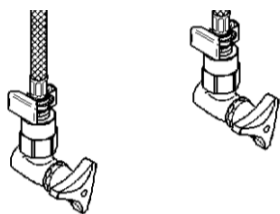
- ※ 水栓内の水は配管へ流し、ドレンバルブ等で開放してください。
- ※ 水抜きが悪い場合は、吐水口の整流器を外してください。
- ※ 冬期、水栓内部の水が凍結すると、本体部分および部品が破損する可能性があります。必ず水抜きを実行してください。
- ※ 水抜き操作後は必ず水栓のレバーを閉栓してください。

ポイント

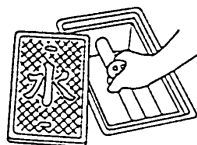


寒冷地用クイックソケットは一般地用よりも小さく約30mmです。

1. 寒冷地用クイックソケットが接続されていることを確認してください。



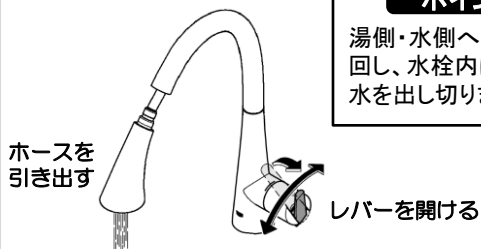
2. 屋外の給水栓を閉じ、不凍栓を開放してください。



ポイント

給水管を通じて、水栓内に残った水が抜けます。

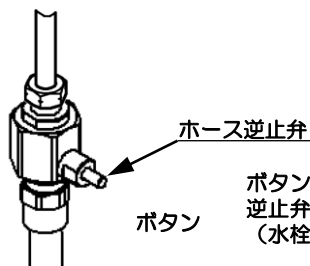
3. 開閉レバーハンドルを開栓し、スプレーヘッドを引出します。



ポイント

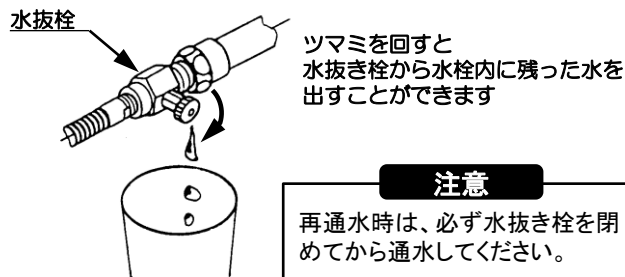
湯側・水側へレバーを回し、水栓内に残った水を出し切ります。

4. ホース逆止弁のボタンを押します。



ボタンを押すと逆止弁が開放されます。(水栓内の水を抜けるようになります)

5. キャビネット内で水抜き栓のツマミを左に回してください。



ツマミを回すと水抜き栓から水栓内に残った水を出すことができます

注意

再通水時は、必ず水抜き栓を閉めてから通水してください。

注意

- ・ 水抜きは桶などの水受けを用意してから行ってください。
- ・ 水抜き栓は水抜き後、必ず右に回して閉栓してください。
- ・ 水抜き栓は水抜き以外の目的では使用しないでください。

日常のお手入れ

本体表面のお手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことを注意してください。

- 汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- 汚れがひどいときは、適度に薄めた中性洗剤を含ませた布で、拭き取ってください。
そのあと水でぬらした柔らかい布で水拭き後、乾いた柔らかい布でからぶきしてください。
- メラミンフォームをご使用されるときは、あまりきつくこすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。
- 壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、タイル及び水栓を十分水洗いしてください。

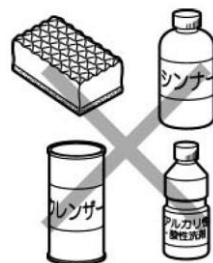
注意

製品の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。

- ・クレンザー、ポリバスクリーナー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- ・酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- ・研磨粒子入りスポンジ、ナイロンたわし、ブラシ等
- ・シンナー、ベンジン等の溶剤

※ヒビ割れや変色の原因となります。

まちがって使用した場合はすぐに水洗い等をし
柔らかい布でしっかり拭き取ってください。



修理を依頼される前に

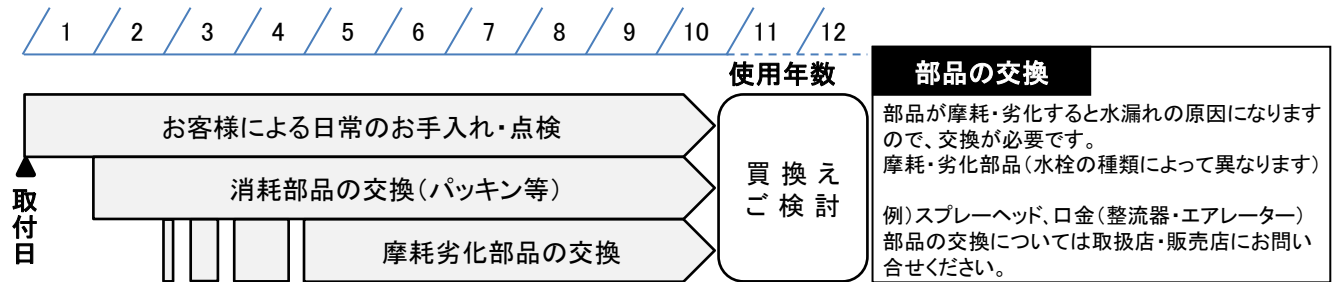
このようなとき	よくある例	ここをお調べください
● 吐水量が少ない (少なくなってきた)	①配管内のゴミ等が整流器(エアレータ)にたまってきた。 ②給湯器の温度設定が不適切である。	(1) 吐水口先端の整流器(エアレータ)にゴミ等が詰まっていないか確認してください。 ※上記「エアレータの清掃」をご参照ください。 (2) ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切替付のものは、適正能力にセットされていることを確かめてください。
● 適温の温度調節がスムーズに出来ない	③配管内のゴミ等が整流器にたまってきた。 ④給湯器から十分なお湯がきていない。 ⑤水または、湯のいずれかの圧力(勢い)が強過ぎる。	(3) 上記同様、整流器(エアレータ)にゴミ等が詰まっていないか確認してください。 (4) 給湯器から十分なお湯がきていることを確認してください。 (5) 湯側・水側とも吐水量が同等であることを確認してください。 ※以下の方法で調整してください。 1. 湯側レバーをいっぱいに出し、湯側の止水栓で適量に調整します。 2. 水側レバーをいっぱいに出し、湯側いっぱいの位置の吐水量と同じか、または1.5倍位になるように、水側の止水栓を調整します。
● 水の量が多すぎて使いづらい ● 使用時に高い音がする	⑥水の圧力(勢い)が強過ぎる。	(6) 上記と同様の方法で止水栓を締め込んで水または湯の量を適量に調整してください。
● 完全に止水できない	⑦内部ヘッドパーツにゴミ等が附着、または破損している。	(7) 販売店、据付業者、またはグローエサービスセンターに連絡してヘッドパーツを点検、または交換する。
● 吐水口回転部より水が漏れる	⑧吐水口リングにゴミ等が附着、または破損している。	(8) 販売店、据付業者、またはグローエサービスセンターに連絡して点検、または本体交換する。
● 吐水口の動きが重い、ホースが引き出せない	⑨ホースやおもりが止水栓等に接触している。	(9) 販売店、据付業者に連絡してホースやおもりが止水栓等に接触しないよう、きちんと施工してもらう。
● 短期間に水受容器に水が溜まる	⑩ホース等の破損。 ⑪ホース接続部のゆるみ。	(10) 販売店、据付業者、またはグローエサービスセンターに連絡してホースを交換する。 (11) ホース接続部を締め直す。

※上記処置で故障が直らない場合は、取扱店、またはグローエサービスセンターへご相談ください。

※上記処置以上の分解、修理、改造は行わないでください。ケガをしたり、故障、破損の恐れがあります。

定期的な部品交換(部品は水栓の種類によって異なります)

◆定期的な点検・部品交換のめやす



補修用部品の供給期間

この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。
なお、補修部品のご購入については取扱店・販売店にお問い合わせください。

アフターサービスについて

◆修理を依頼されるとき

お求めの取扱店、またはグローエサービスセンターに修理を依頼してください。

<保証期間中は>

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

<保証期間が過ぎているときは>

- 修理により使用可能な商品については、有償にて修理を承ります。

<修理料金は>

- “技術料”+“出張料”+“部品代”+“消費税”+“必要な経費”で構成されています。

<連絡していただきたい内容>

1. ご住所、ご氏名、電話番号
2. 商品名
3. 品番(保証書または取扱説明書)
4. ご購入日
5. 故障内容、異常の状況
6. 希望訪問日・在宅可能日時

◆修理の依頼・お問い合わせは

グローエサービスセンター
0570-666-368

受付時間 平日9:30~17:30(受付・お問い合わせ)

平日夜間・土・日・祝日24時間(漏水等緊急時のご相談のみ)

シングルレバー洗面、キッチン混合栓 一般地用

品質確認 実施工場	株式会社LIXIL 半田工場
認証登録 番号	C-643
特記事項	なし

シングルレバー洗面、キッチン混合栓 寒冷地用

品質確認 実施工場	株式会社LIXIL 半田工場
認証登録 番号	C-644
特記事項	寒冷地用(耐寒性能適合品)

グローエジャパン株式会社

ホームページアドレス <https://www.grohe.co.jp/>